

No. 37 号 ひらつかの風

No. 37 号
2024年3月号
(令和6年)

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人々を応援します。

CONTENTS

- P.1平塚市情報 市民提案型協働事業の募集開始
- P.2団体レポート『平塚 花のまちづくりの会』
- P.3お役立ち情報
- P.4センター情報・平塚市情報

団体
レポート

『平塚 花のまちづくりの会』 ～市民の憩いの場所、バラの彩りで～



平塚市情報

第5回

平塚市みんなのまちづくり事例年間大賞を受賞した団体を表彰しました!

令和6年2月13日(火)に、年間大賞を受賞した団体を表彰いたしました。

応募にご協力いただき誠にありがとうございました。「事例集」を発行いたしましたので、ぜひ、ご覧ください。

平塚市協働推進課

https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00022.html



▲受賞された方々と市長

●ひらつか市民活動センターのホームページをご活用
ください!!



センターから発信する様々な報告・情報を
右記の二次元コードから見られます。



センター情報



助成金情報



団体イベント情報



センター開催報告

団体
レポート

『平塚 花のまちづくりの会』 ～市民の憩いの場所、バラの彩りで～



平塚駅南口噴水広場にたくさんのバラが咲いているのをご存知ですか。その数、なんと121本! その他にもハーブや多肉植物などたくさん育てています。丹精こめて育成を手掛けている「平塚 花のまちづくりの会」の代表の山田美智子さんに、その思いや活動についてお話をうかがいました。



噴水広場

■バラの名所へのきっかけ

平成23年、平塚市協働推進課とひらつか市民活動連絡協議会の協働事業として、「訪れたいなるまち」を平塚の特産であるバラをシンボルとして発信することになったのが発端です。当時、平塚駅南口広場には、雑草がいっぱいで噴水や人魚像「海の賛歌」があるにも関わらず、広場に入ることが出来ず、おもてなしの観点からしても改善の必要性がありました。山田さんたちは、常々平塚のまちづくり、景観づくりに関心を持っていました。そこで、平塚駅から海への玄関口でもある南口をバラで美しく飾ろうと協働事業「花のまちづくり ～バラをシンボルとして～」を提案し、活動を開始しました。



みんなで作業するのは楽しいです



■花のまちづくりの活動

平成23～24年は、協働事業として「南口広場の草刈り・整備」を連絡協議会のまちづくり部会と平塚 MAC、神奈川大学コミュニティクリエーションの皆さんと共に実施しました。平成25年に任意団体「平塚花のまちづくりの会」を発足して、バラの植栽と手入れ、ハーブ類の育成などを行っています。主な活動は3つです。



1 バラの植栽と手入れ

毎週水曜日に南口広場において、草取りから始め、季節に応じた作業は年間を通して実施しています。会の発足から10年、毎年多様なバラの花を咲かせ、市民にバラの名所として知られるまでには、並大抵ではない努力と苦労がしのべれます。



▲寒肥の最後は水あげです



▲大きく育ててね♡

2 バラを学ぶ

横浜ばらの会顧問の今井宣代氏を講師に招き「バラ講座」を開講しています。年3回、専門知識を学ぶ講座をひらつか市民活動センターで行い、講義後に実践作業を南口広場で行っています。「バラは奥が深く、学ぶことが多い。活動をする上では専門性を身に付けることも必要です」また「バラに興味がある方、一緒に活動してみたいと思う方は、まずこの講座に参加してみてください」と山田さんは話します。

3 活動のPR

毎年4月に開催される平塚市緑化まつり(総合公園)では、バラの講習会を実施、11月のひらつか市民活動センターまつりでは、作成した“平塚バラマップ”を配布して、市内のバラの名所、お店の紹介をしており、これらの活動を通して他の市民活動団体との交流を図ったり、市民から会員募集をしています。

■団体の願い

海に向かう南口の広場を整備してたくさんの花で彩りたいという想いで始めました。バラが増えるごとに皆さんに喜んでもらえるようになり、また人との繋がりもできました。地道な活動ではありますが、市民の方や来訪者の皆さんに憩いの場として利用してもらえることが、団体としての喜びであり、やりがいとなっています。今は資金面とメンバーを増やすことに苦労しています。バラについて知りたい、活動に興味がある方は、是非見に来てください。



問合せ先

平塚 花のまちづくりの会
メール ● yama30-4@mb.scn-net.ne.jp (山田)

■取材を終えて

山田さんの活動の原動力は「好奇心」だそうです。夢を語る山田さんの顔は輝いていました。バラの手入れの合間のおしゃべり、みなさんの楽しそうな笑顔が印象的でした。

お役立ち
情報

「市民活動の現状に関するアンケート調査」 についてのご報告



令和5年(2023)年11月から12月にかけて、センターにご登録いただいている市民活動団体、及び市内NPO法人の皆様に向けて、日頃の活動に関するアンケート調査を実施いたしました。その結果、配布数364団体に対し132団体の皆様にご回答いただきました(回答率36.3%)。

今回は、活動の現状や課題の他、新たに各団体の災害時への項目も加え24項となりました。

奇しくも令和6(2024)年元旦に能登半島地震が発生してしまい、災害に対する準備の必要性を強く実感することとなりました。厳しい寒さの中、辛い環境下におかれた皆様には心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

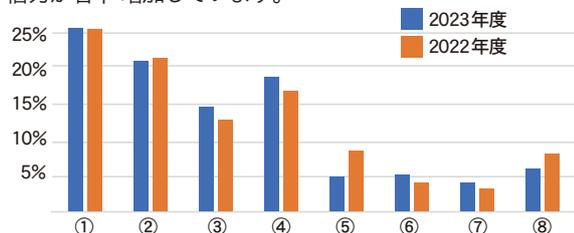
このページではアンケート結果の抜粋版をお知らせします。詳細結果については「ひらつかの風37号」に同封するとともに、センターのホームページに公開いたしますので是非ご覧ください。

ご協力ありがとうございました。

1 現在の課題と今後の活動に必要なもの (前年度対比)

現在の課題

2022年度比では大きな変化は見られませんが、人材不足・後継者不足が相変わらず高い比率となり、今年度は情報発信力が若干増加しています。

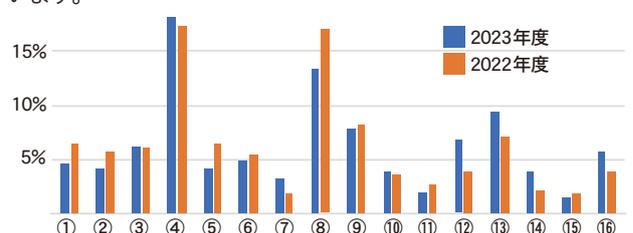


- ① 人材不足
- ② 後継者がいない
- ③ 活動資金の不足
- ④ 情報発信力が弱い
- ⑤ 活動場所の確保が難しい
- ⑥ 組織基盤が脆弱である
- ⑦ 外部との連携・協働ができない
- ⑧ その他



今後の活動に必要なもの

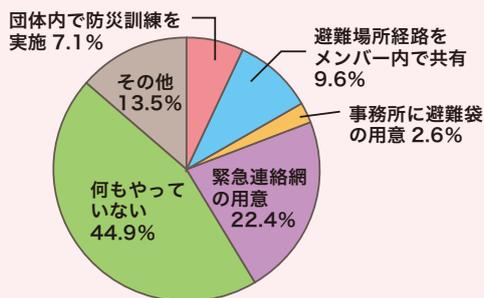
2022年度比では「現在の課題」同様大きな変化は見られませんが、情報発信力と仲間同士のチームワークの比率が高くなっています。



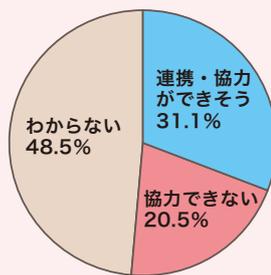
- ① 活動分野に関する専門的なノウハウ
- ② 資金調達のノウハウ
- ③ ITスキルのノウハウ
- ④ 情報発信力 (HP・SNS・広報など)
- ⑤ 事業を行う企画力
- ⑥ 常設の場所・拠点施設
- ⑦ トップ(理事長・理事会)の指導力
- ⑧ メンバー同士の協力・チームワーク
- ⑨ 人材育成力
- ⑩ ボランティアマネジメント力
- ⑪ 法人事務の知識や実務経験
- ⑫ 他の市民活動団体とのネットワーク
- ⑬ 行政との協働や関係づくりの実績・経験
- ⑭ 企業との協働や関係づくりの実績・経験
- ⑮ その他
- ⑯ 特にない

2 災害時の対策等について

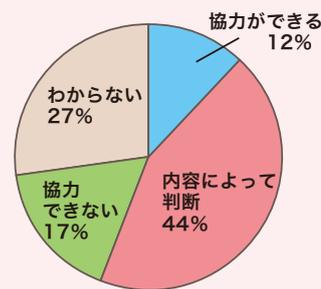
◆災害発生時の対策◆



◆災害時の連携◆



◆ボランティアセンター(協力)◆



3 全体の総括

◆前年度と比べて…

前年度対比では1項目を除き全体的に大きな変化は見られません。主な収入源は両年とも約42%が会費・主な支出は消耗品(18%)が一番多く、印刷費・通信費となっています。情報発信については、団体のホームページが一番多い(27%)ですが、前年度に比べX(旧Twitter 1.9%→3.5%)とinstagram(5.7%→7.0%)の比率が若干増えています。

◆大きな変化があったもの

「コロナ禍の影響が残る中乗り越えられない課題」について、2022年度は「活動の見通しが立たない」が26.7%と一番比率が大きかったですが、今年度は5.1%と激減しており、ほぼ平常な活動に戻りつつあると考えて良いと思います。又、「外部との連携・協働のノウハウがない」については2023年度は4.5%と前年度比10%程下がっています。一方、「人材不足」については2022年度が6.9%でしたが、今年度は26.0%と増加しています。

センター情報

● 団体活動にお役立てください!

協働事業に関する相談会

令和7年度の市民提案型協働事業へ応募を考えている団体さんに向けて相談会を実施します。平塚市との協働を検討している団体さんはこの機会をご利用ください。

日時 ● 4月12日(金) ①10:00～11:00 ②11:00～12:00
4月20日(土) ①10:00～11:00 ②11:00～12:00
5月10日(金) ①14:00～15:00 ②15:00～16:00

場所 ● ひらつか市民活動センター

相談対応 ● 平塚市協働推進課職員、ひらつか市民活動センター長：坂田美保子

申込 ● 所定の用紙にご記入の上、平塚市協働推進課又はひらつか市民活動センターまでお申込みください。



新規登録団体のご紹介

2023年4月～2024年2月にかけてセンターに登録された市民活動団体をご紹介します。

◆ 神奈川県中小企業家同友会

中小企業家の自主的な努力と団結の力で、日本経済の自主的で平和的な発展をめざそう。

◆ 紀声会

声楽を真剣に学び発表の場を持つことで、豊かな人間性を培い、芸術性の追求を促進する。そして多くの市民に内容豊かな音楽を届ける。

◆ 七夕を楽しくする市民の会

気楽なアイデア集合の集団です。七夕祭を市民の手に取り戻しましょう。

◆ AA 喜楽グループ

自らに飲酒の問題があり、その飲酒のとらわれから回復しようとする自助グループです。



平塚市情報

● 市民提案型協働事業の募集開始

令和7年度に実施する市民提案型協働事業の提案の募集を開始します。行政と協力・連携して実施したい事業がございましたら、お気軽にご相談ください。上記、協働事業に関する相談会もお待ちしております。

募集期間 ● 令和6年4月5日(金)～6月12日(水)

お問い合わせ先 ● 平塚市協働推進課 電話/21-9618

詳細はこちら ● http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00040.html

アクセス!



予告 市民活動団体情報の更新のお願い

5月に情報更新を団体自身で行っていただきます。改めてユーザー名・パスワードの確認をお願いします。不明な場合は協働推進課(電話/21-9618)までご連絡ください。

編集後記

今回の「平塚 花のまちづくりの会」の取材は1月に実施しました。寒い中、春の芽吹きに備えて土を掘り肥料を与える作業をされていました。バラの開花が楽しみです。好きなバラの香りを探しに出かけてみてください。センターはこれからも平塚の市民活動の魅力を発信していきたいと思ひます。(さ・し)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00～22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045

神奈川県平塚市見附町1-8

TEL ● 0463-31-7571 FAX ● 0463-35-6601

Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net

URL ● <http://hiratsuka-shimin.net>

センター登録団体数(2024年2月15日現在)

登録団体数 ● 454 団体

(内訳 市民活動団体…317 団体、一般団体…137 団体)



センターのマスコット たすけくとあいちゃん

